



2026年9月期 第3四半期決算短信（日本基準）（非連結）

2026年8月10日

上場会社名 株式会社パルマ
コード番号 3461 URL <https://www.palma.jp/>

上場取引所 東 名

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 木村 純一

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 赤羽 秀行

TEL 03-3234-0358

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年9月期第3四半期の業績 (2025年10月1日～2026年6月30日)

(1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年9月期第3四半期	1,633	2.5	110	72.7	147	47.1	94	50.8
2025年9月期第3四半期	1,593	△27.2	64	△53.2	100	△28.4	62	△25.7

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年9月期第3四半期	14.00	14.00
2025年9月期第3四半期	9.28	9.28

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年9月期第3四半期	3,842	2,434	63.3
2025年9月期	3,791	2,420	63.8

(参考) 自己資本 2026年9月期第3四半期 2,433百万円 2025年9月期 2,419百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年9月期	—	0.00	—	12.00	12.00
2026年9月期	—	0.00	—		
2026年9月期 (予想)				13.00	13.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年9月期の業績予想 (2025年10月1日～2026年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	370	150.7	350	87.1	210	71.4	31.04

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

当社の業績はターンキーソリューション事業におけるセルフストレージ施設等の売買動向によっては収益が大きく変動する可能性があり、現時点における通期予測については不確定要素が多いことから、合理的に仮定された条件に基づいて算出された「業績予想」に代えて、当社の2026年9月期の経営目標である「業績目標」を開示しております。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- | | | |
|----------------------|---|---|
| ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : | 無 |
| ② ①以外の会計方針の変更 | : | 無 |
| ③ 会計上の見積りの変更 | : | 無 |
| ④ 修正再表示 | : | 無 |

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2026年9月期3Q	6,765,489 株	2025年9月期	6,765,489 株
② 期末自己株式数	2026年9月期3Q	348 株	2025年9月期	348 株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2026年9月期3Q	6,765,141 株	2025年9月期3Q	6,765,141 株

※ 添付される四半期財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。

また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料3ページ「1.経営成績等の概況(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(セグメント情報等の注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	7

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善を背景に、個人消費に持ち直しの動きが見られるなど、緩やかな回復基調で推移しました。一方で、物価上昇の継続や不安定な為替相場、中東地域における地政学的リスクの高まりなど、先行きは依然として不透明な状況が続いております。

当社が属するセルフストレージ業界におきましては、生活様式の多様化や居住空間の有効活用に対するニーズを背景に、収納需要は堅調に推移しております。また、施設運営事業者においては、業務の効率化や収益性向上に向けた運営支援サービスへの需要が高まる一方、建築費や人件費の上昇など、施設の新規開発や運営に影響を及ぼす要因については、引き続き注視が必要な状況にあります。

このような状況の中、当社は、ビジネスソリューションサービス（セルフストレージ（トランクルーム）賃料債務保証付きBP0（ビジネスプロセスアウトソーシング）・ITソリューションサービス等）の受託伸長と、ターンキーソリューションサービスにおけるトランクルーム施設の投資開発の推進及び運営施設の稼働向上に加え、施設開業コンサルティングや収納物撤去・整理関連サービスなどの新規注力サービスの拡販に向けた活動を進めてまいりました。

以上の結果、当第3四半期累計期間の業績は、売上高は1,633,984千円（前年同四半期比2.5%増）となりました。損益面では、営業利益110,593千円（前年同四半期比72.7%増）、経常利益147,695千円（前年同四半期比47.1%増）、四半期純利益は94,717千円（前年同四半期比50.8%増）となりました。

セグメントの経営成績は以下のとおりであります。

（ビジネスソリューションサービス）

当第3四半期累計期間は、既存事業者による当社サービスへの切り替えや大手事業者による新規導入などに加え、堅調なセルフストレージの利用動向を背景に、賃料債務保証付きBP0サービスやWeb予約決済・在庫管理システム「クラリス」の導入が伸長、当第3四半期累計期間の本サービス新規契約件数は31,899件（前年同四半期比8.4%増）当第3四半期会計期間末時点の主力サービスの賃料債務保証付きBP0サービス受託残高は142,351件（前期末比5.1%増）となりました。

さらに、東電用地株式会社への運営事業サポートの導入や、レンタルオフィス事業向けの「滞納保証付き集金代行サービス」および「クラリス」の提供拡大やエリアリンク株式会社が提供する「パートナー制度」の導入により、当社は同社が運営する「ハローストレージ」に対し、「賃料債務保証付きBP0サービス」を拡大するなど、事業機会の拡大・創出に向けた施策を推進してまいりました。

以上の結果、当第3四半期累計期間の業績は、売上高1,162,308千円（前年同四半期比7.1%増）、営業利益411,332千円（前年同四半期比11.3%増）となりました。

（ターンキーソリューションサービス）

当第3四半期累計期間は、遊休不動産の有効活用を目的として、東電用地株式会社をはじめとする企業に対し、セルフストレージ施設の開発支援を積極的に推進しました。

また、株式会社JBサステナブルと、系統用蓄電池の設置・運用を目的とした業務提携契約を締結いたしました。本業務提携では、当社が保有又は運営するコンテナ型トランクルーム施設の未利用スペースと、同社が有する蓄電池の設置・運用ノウハウを活用し、蓄電池設置拠点の展開に向けた検討を進めております。

以上の結果、当第3四半期累計期間の業績は、売上高471,676千円（前年同四半期比7.2%減）、営業損失は158,374千円（前年同四半期は175,664千円の営業損失）となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

①資産の部

流動資産は、前事業年度末と比べて42,671千円増加し、3,594,721千円となりました。これは主に販売用不動産が646,147千円、求償債権が116,700千円増加した一方で、現金及び預金が294,906千円、仕掛販売用不動産が278,583千円減少、貸倒引当金が102,251千円増加したことによるものであります。固定資産は、前事業年度末と比べて8,513千円増加し、247,628千円となりました。これは主に繰延税金資産が24,708千円増加する一方で、固定資産の償却等により12,009千円、投資有価証券が5,387千円減少したことによるものであります。

この結果、当第3四半期累計期間末における資産合計は、前事業年度末と比べて51,185千円増加し、3,842,349千円となりました。

②負債の部

流動負債は、前事業年度末と比べて242,422千円減少し、571,355千円となりました。これは主に1年内返済予定の長期借入金が21,846千円増加した一方で、短期借入金が205,000千円、その他の流動負債（未払金等）が35,856千円減少したことによるものであります。固定負債は、前事業年度末と比べて280,098千円増加し、836,730千円となりました。これは主に長期借入金が279,518千円増加したことによるものであります。

この結果、当第3四半期累計期間末における負債合計は、前事業年度末と比べて37,675千円増加し、1,408,085千円となりました。

③純資産の部

純資産合計は、前事業年度末と比べて13,509千円増加し、2,434,263千円となりました。これは主に配当金の支払81,181千円及び四半期純利益94,717千円を計上したことによるものであります。

なお、自己資本比率につきましては63.3%となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年9月期の通期業績目標につきましては、変更はございません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2025年9月30日)	当第3四半期会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,238,684	1,943,778
金銭の信託	1,350	1,350
売掛金	121,681	127,155
求償債権	506,189	622,889
販売用不動産	509,957	1,156,104
仕掛販売用不動産	287,487	8,903
その他	156,234	106,325
貸倒引当金	△269,534	△371,786
流動資産合計	3,552,049	3,594,721
固定資産		
有形固定資産	39,400	33,462
無形固定資産	17,116	12,657
投資その他の資産	182,597	201,507
固定資産合計	239,114	247,628
資産合計	3,791,163	3,842,349
負債の部		
流動負債		
短期借入金	205,000	—
1年内返済予定の長期借入金	241,590	263,436
未払法人税等	61,206	33,327
契約負債	93,165	97,632
その他	212,816	176,959
流動負債合計	813,778	571,355
固定負債		
長期借入金	452,058	731,576
転貸損失引当金	104,146	104,146
その他	427	1,008
固定負債合計	556,631	836,730
負債合計	1,370,409	1,408,085
純資産の部		
株主資本		
資本金	600,318	600,318
資本剰余金	510,767	510,767
利益剰余金	1,308,930	1,322,466
自己株式	△173	△173
株主資本合計	2,419,843	2,433,379
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	25	19
評価・換算差額等合計	25	19
新株予約権	884	864
純資産合計	2,420,754	2,434,263
負債純資産合計	3,791,163	3,842,349

（2）四半期損益計算書

（単位：千円）

	前第3四半期累計期間 （自 2024年10月1日 至 2025年6月30日）	当第3四半期累計期間 （自 2025年10月1日 至 2026年6月30日）
売上高	1,593,806	1,633,984
売上原価	896,496	869,867
売上総利益	697,310	764,117
販売費及び一般管理費	633,267	653,524
営業利益	64,042	110,593
営業外収益		
受取利息	1,090	2,394
受取配当金	0	0
投資有価証券売却益	42,279	44,323
その他	273	665
営業外収益合計	43,644	47,383
営業外費用		
支払利息	7,279	10,117
その他	23	164
営業外費用合計	7,303	10,281
経常利益	100,383	147,695
特別損失		
固定資産除却損	—	2,104
特別損失合計	—	2,104
税引前四半期純利益	100,383	145,590
法人税、住民税及び事業税	55,528	75,579
法人税等調整額	△17,959	△24,706
法人税等合計	37,569	50,873
四半期純利益	62,814	94,717

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

Ⅰ 前第3四半期累計期間（自 2024年10月1日 至 2025年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	四半期 損益計算書 計上額 (注) 2
	ビジネス ソリューション サービス	ターンキー ソリューション サービス			
売上高					
顧客との契約から生じる収益	1,070,290	103,667	1,173,957	—	1,173,957
その他の収益	15,276	404,572	419,849	—	419,849
外部顧客への売上高	1,085,566	508,239	1,593,806	—	1,593,806
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,085,566	508,239	1,593,806	—	1,593,806
セグメント利益又は損失 (△)	369,731	△175,664	194,066	△130,023	64,042

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△130,023千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用となります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ 当第3四半期累計期間（自 2025年10月1日 至 2026年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	四半期 損益計算書 計上額 (注) 2
	ビジネス ソリューション サービス	ターンキー ソリューション サービス			
売上高					
顧客との契約から生じる収益	1,148,127	97,466	1,245,593	—	1,245,593
その他の収益	14,180	374,210	388,390	—	388,390
外部顧客への売上高	1,162,308	471,676	1,633,984	—	1,633,984
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,162,308	471,676	1,633,984	—	1,633,984
セグメント利益又は損失 (△)	411,332	△158,374	252,958	△142,364	110,593

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△142,364千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用となります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記）

当第3四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期累計期間に係る減価償却費（無形固定資産等に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第3四半期累計期間 （自 2024年10月1日 至 2025年6月30日）	当第3四半期累計期間 （自 2025年10月1日 至 2026年6月30日）
減価償却費	13,757千円	24,484千円